

【外科】

虫垂炎について

国吉病院

医師 木下貴史 さん

虫垂炎は、一般的に「盲腸」と呼ばれていますが、実際は盲腸の下端にある虫垂がふん塊等で閉塞し、炎症と感染を起こした状態を言います。症状は発熱と右下腹部痛

ですが、痛みは上腹部やへそ周囲から始まることも多く、増悪すると腹部を手で押して離れた瞬間に痛みが増す腹膜炎や膿瘍形成を併発し重篤化することもあります。診断は、触診と採血、画像検査



があり、特にコンピューター断層撮影（CT）検査は病巣の描出ばかりでなく、他疾患との鑑別診断にも有用です。

治療法は、軽症では抗生剤投与による保存的加療になりますが、症状が増悪する場合は外科的加療（虫垂切除術）となります。最近では、患者さんの全身状態や、炎症が周囲臓器に波及し高侵襲手術が予測された場合、まず保存的加療

を先行して炎症の鎮静化を図り、症状が消えた約3カ月後に手術する「待機的虫垂切除術」という治療法もあります。

当院では、患者さん個々の全身状態によって治療方針を決定し、腹腔鏡下手術にも対応しております。気になる方は一度ご相談ください。

医療法人三和会 国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】

午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】

消化器内科・循環器内科・

消化器外科・緩和ケア内科・

整形外科・内科（ペインクリニック）他